

四半世紀にわたり宮崎県の舞台芸術文化の拠点となってきた宮崎県立芸術劇場。3つのホールの中で、イベントホールは利用内容に応じてステージ形式を変えられる多目的の小ホール。2019年2月の照明リニューアルでは、音響反射板照明、客席照明および舞台地明かり用照明のLED化を実施し、消費電力を改修前の約4分の1程度まで削減しました。

宮崎県総合文化公園内にあり、「メディキット県民文化センター」の愛称で知られる県立芸術劇場は、音楽、演劇、舞踊、伝統芸能など幅広いジャンルの舞台芸術が上演されてきた文化拠点。コンサート用のアイザックスターンホール、演劇ホール、多目的用途のイベントホールの3つのホールからなり、県民に芸術鑑賞の機会と創作芸術の発表の場を提供しています。国内の優秀な建築作品に贈られるBCS賞受賞施設であり、優良ホール100選のひとつでもあります。



【物件概要】
所在地：宮崎市船塚3丁目210番地
ホール面積：280㎡
客席数：最大300席（移動席）
舞台：間口14m、高さ4.5～6m可変、奥行8.0m
施主：宮崎県
設計：佐藤総合計画・毛利前田設計共同企業体
施工：電気/九電工・はまゆう特定建設工事共同企業体
リニューアル完成：2019年2月



幕舞台設定時ホール全景 ホリゾンライト②③およびボーダーライト④には5色フルカラー（電球色、赤、緑、青、青緑）のLED器具を採用し、豊かなカラー演出を実現。



調光操作室 調光操作卓⑤はカラー制御とDMX/RDM制御が可能。



ホール全景（舞台側から）ボーダーライトは第1第2ともに、ハロゲン器具（150W×54灯）からLEDボーダーライト（140W×10台）④にリニューアル。

調光操作室 新たに様々な検出機能がついた調光器盤⑥を採用。



左写真より客席ダウンライト①、ボーダーライト④、アッパーホリゾンライト②、ローホリゾンライト③

ハロゲン電球の演出性を再現できるLED照明器具を導入し、省エネ性を高めた劇場照明を実現。

3つのホールの中でイベントホールは音楽、演劇、舞踊など利用目的に応じて、幕舞台、平土間、エンド、スラスト、センターなど、ステージと客席の形態を自由に設定できる可変式の小規模多目的ホールです。客席天井はメッシュルーバーによるシンプルかつシックな意匠が採用され、音響反射板の天井も同様の構造となっています。

照明器具にはLEDシアターシリーズダウンライトを特注化粧枠にて客席側に24台、音響反射板に24台の計48台採用しました。0～100%調光で、ハロゲン電球と同じように調光とともに色温度が変化する「調色モード」の採用で赤味がかった光色でふわっと立ち上がり、ハロゲン

ダウンライトが創り出す劇場照明の質感をそのまま再現します。

幕舞台での地明かり用の照明器具にはフルカラーLEDボーダーライトを採用。自由で鮮やかなカラー演出が可能となっています。調光操作卓には新たにDMX/RDM制御を採用し、器具単位での情報取得と遠隔設定変更ができるようになりました。また、カラー制御機能も搭載し、複雑なカラー制御を簡単に操作可能としました。

これら照明設備のLED化によりハロゲン器具を採用していた改修前と比較して、消費電力を約40kW、78.2%削減^{*}しています。

音響反射板設置時ホール全景 音響反射板と客席側天井に調色モード（3000K～1800K）に設定したLEDシアターシリーズダウンライト（Ra95、0～100%調光）①を計48台採用。

^{*}消費電力削減値は当社カタログ値より算出

主な掲載器具一覧				
設置場所	器具名（品種名）	形名	台数	備考
舞台および客席	① LEDシアターシリーズダウンライト	AL-LED-TDL-LS	48	消費電力：91.5W
	② フルカラーLEDホリゾンライト5色タイプ（特注）	AL-LED-UH-5-C（アッパー）	15	消費電力：140W
	③ フルカラーLEDホリゾンライト5色タイプ（特注）	AL-LED-LH-5（ローア）	15	消費電力：140W
	④ フルカラーLEDボーダーライト5色タイプ	AL-LED-BL-5-C	20	消費電力：140W
調光操作室	⑤ 調光操作卓	LICSTAR-IV TypeJ	1式	
調光器室	⑥ 調光器盤	PLUG-IN DIMSTAR III	1式	